

令和8年度 事業計画書

令和8年度事業計画

本会の目的達成のため、使用船舶4隻を効率的に活用し、名古屋市、東海市、知多市、弥富市および飛島村地先と、これに接続する港湾区域内運河・河川の水面清掃を行うとともに、航行船舶の安全および港内の美化、水面の汚濁防止および公衆衛生の向上を図るとともに、環境に対する意識向上のための啓蒙活動を行う。事業内容については、以下のとおりである。

- (1) 名古屋港港湾区域内（河川区域を除く）において、清掃船「清港丸」および「あゆち」による巡回清掃を行う。航行船舶の障害となる大型漂流物等の除去は、大型漂流物回収船「そうかい」が行い、航行船舶の安全を図る。また、堀川・新堀川・中川運河の河川区域については、清掃船「きよかわ」により巡回清掃を行う。
- (2) 港湾、河川において大型漂流物、へい死魚、原因不明の流出油が発生した場合は、各船舶が連携し、迅速に回収対応を行う。
- (3) 小学生等を対象に、港湾、河川の美化および公衆衛生の意識向上を目的として、清掃船による清掃作業見学会や出前講座を開催し、清掃作業の実演や、ごみが航行船舶の安全や海洋生物へ与える影響について説明する。
- (4) 秋季に7日間の日程で、河川隣接地域の木材業者（名古屋水上交通組合）との共催により、堀川、新堀川および中川運河において、清掃船「きよかわ」を使用して総延長約30kmにわたる「河川大清掃」を行う。あわせて、ポスターや本会の標語「港や川をきれいにしましょう」の横断幕により当該清掃を周知し、港湾、河川へのごみの投捨防止を促す。
- (5) 「環境デーなごや」をはじめとする各種環境イベントに参加し、啓発ビデオの上映やリーフレット配布、写真パネルの展示等を通じて、本会事業の認知度向上を図る。
- (6) 海洋環境保全推進月間および名古屋みなと祭などのイベント期間中、名古屋港ガーデンふ頭や会場周辺に横断幕を掲げ、来港者や参加者に対し、港湾・河川の美化意識の高揚を図る。
- (7) 名古屋港管理組合が実施する、「みなと体験ツアー（環境・景観コース）」に協力し、船上において参加者へ清掃船や本会の活動を紹介し、認知度向上を図る。
- (8) 公益財団法人名古屋みなと振興財団が、令和2年5月より名古屋港水族館南館で開催している海洋環境に関する常設展「エコ・アクアリウム」に継続して参加し、啓発ビデオの上映や回収ゴミの展示を行う。
- (9) 名古屋市環境学習センター（エコパルなごや）のマンスリー展示に参加する。
- (10) 環境負荷軽減のため、回収した塵芥等については種類に応じて適正に分別処理を行う。

令和8年度 収支予算書

正味財産増減予算書

令和08年04月01日から 令和09年03月31日まで

(単位：円)

科 目	令和8年度 (予算)	令和7年度 (予算)	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費			
受取会費	6,084,000	6,129,000	△45,000
受取負担金及び補助金等			
受取負担金及び補助金等	82,985,000	82,985,000	0
受取寄附金			
受取寄附金振替額	1,887,000	2,600,000	△713,000
受託収益			
受託収益	36,700,000	34,500,000	2,200,000
雑収益			
雑収益	144,000	186,000	△42,000
経常収益計	127,800,000	126,400,000	1,400,000
(2) 経常費用			
事業費			
給与	25,814,000	24,295,000	1,519,000
手当	21,035,000	19,753,000	1,282,000
賃金	7,910,000	7,910,000	0
厚生費	9,290,000	8,620,000	670,000
退職給付費用	3,786,000	4,009,000	△223,000
備消耗品費	304,000	321,000	△17,000
旅費交通費	20,000	20,000	0
被服費	146,000	150,000	△4,000
光熱水費	191,000	185,000	6,000
燃料費	10,503,000	10,589,000	△86,000
修繕費	13,468,000	13,605,000	△137,000
保険料	0	104,000	△104,000
使用料及び賃借料	230,000	81,000	149,000
啓蒙宣伝費	1,931,000	2,641,000	△710,000
手数料	62,000	81,000	△19,000
委託料	5,459,000	5,339,000	120,000
公課費	0	63,000	△63,000
雑費	0	0	0
減価償却費	2,000	2,000	0
事業費計	100,151,000	97,768,000	2,383,000
管理費			
役員報酬	8,247,000	7,030,000	1,217,000
給与	11,297,000	10,944,000	353,000
手当	5,911,000	5,710,000	201,000
厚生費	4,506,000	3,966,000	540,000

退職給付費用	909,000	741,000	168,000
備消耗品費	94,000	100,000	△6,000
旅費交通費	118,000	10,000	108,000
被服費	34,000	34,000	0
光熱水費	504,000	506,000	△2,000
燃料費	90,000	104,000	△14,000
食糧費	20,000	20,000	0
印刷製本費	282,000	310,000	△28,000
修繕費	89,000	89,000	0
保険料	103,000	110,000	△7,000
使用料及び賃借料	228,000	225,000	3,000
通信運搬費	499,000	427,000	72,000
手数料	192,000	117,000	75,000
委託料	1,165,000	2,387,000	△1,222,000
負担金	138,000	310,000	△172,000
会議費	261,000	257,000	4,000
公課費	1,740,000	1,640,000	100,000
雑費	274,000	297,000	△23,000
減価償却費	8,000	8,000	0
管理費計	36,709,000	35,342,000	1,367,000
経常費用計	136,860,000	133,110,000	3,750,000
当期経常増減額	△9,060,000	△6,710,000	△2,350,000
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△9,060,000	△6,710,000	△2,350,000
一般正味財産期首残高	12,700,000	12,700,000	0
一般正味財産期末残高	3,640,000	5,990,000	△2,350,000
II 指定正味財産増減の部			
一般正味財産への振替額			
一般正味財産への振替額	1,887,000	2,600,000	△713,000
当期指定正味財産増減額	△1,887,000	△2,600,000	713,000
指定正味財産期首残高	3,900,000	3,084,000	816,000
指定正味財産期末残高	2,013,000	484,000	1,529,000
III 正味財産期末残高	5,653,000	6,474,000	△821,000

